

岡山県介護保険制度推進委員会

<地域包括ケア「見える化」システム>

令和7年3月21日（金）

岡山県子ども・福祉部 長寿社会課

○地域包括ケア「見える化」システム

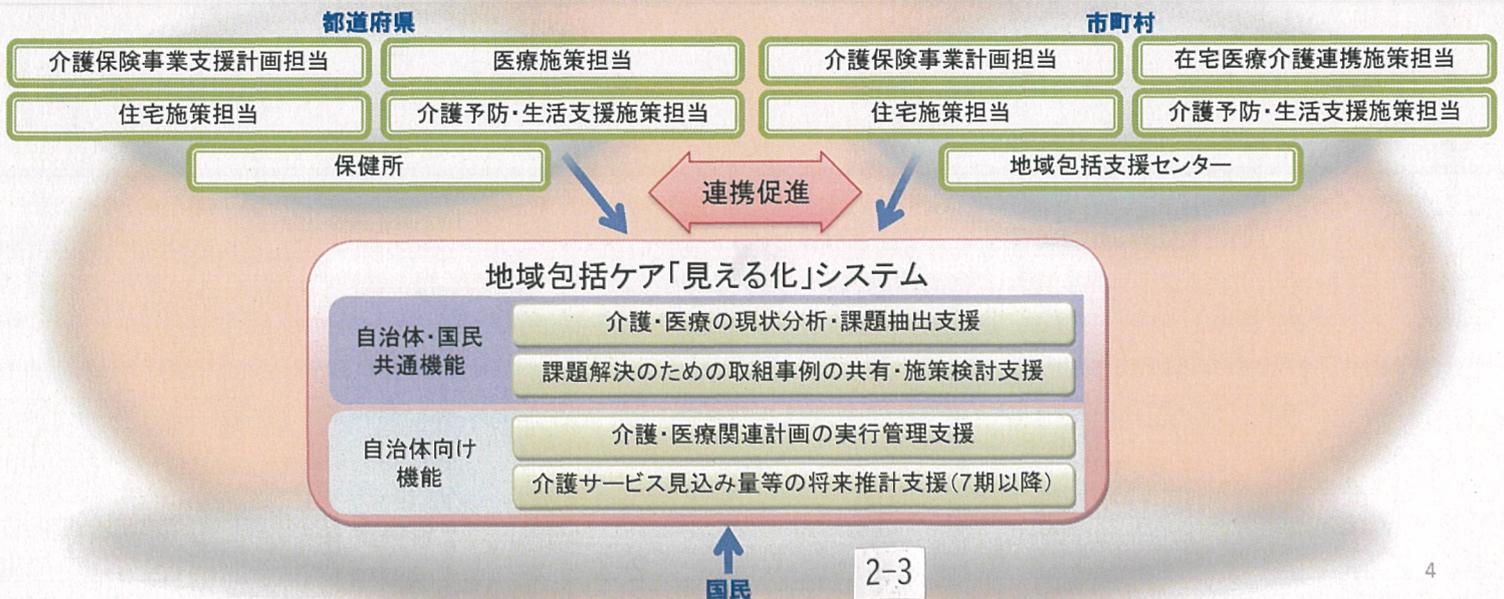
<https://mieruka.mhlw.go.jp/>

- 地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。
- 介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。
- 本システム利用の主な目的は、以下のとおりです。
 - ・ 地域間比較等による現状分析から、自治体の課題抽出をより容易に実施可能とする
 - ・ 同様の課題を抱える自治体の取組事例等を参照することで、各自治体が自らに適した施策を検討しやすくする
 - ・ 都道府県・市町村内の関係者全員が一元化された情報を閲覧可能となることで、関係者間の課題意識や互いの検討状況を共有することができ、自治体間・関係部署間の連携が容易になる
- また、本システムは、平成27年7月の本格稼働以降、一部の機能を除いて誰でも利用することができるようになりました。
このことから、住民も含めた地域の関係者間で、地域の課題や解決に向けた取組を共有でき、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進しやすくなることが期待されます。

I 地域包括ケア「見える化」システムの全体像

地域包括ケア「見える化」システムの目的

- 地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムである。
- これにより、都道府県・市町村は地域間比較等による現状分析から課題抽出が容易になり、同様の課題を抱える自治体の取組事例等を参考にすることで、自らに適した施策を検討しやすくなる。
- また、都道府県・市町村内の関係者全員が一元化された情報を共有することで、関係者間の課題意識や互いの検討状況を共有することができ、自治体間・関係部署間の連携をしやすくなる。
- 加えて、担当者の人事異動による影響を効果的かつ効率的に補完することができ、スピード感をもって継続性のある施策を実行しやすくなる。
- さらに、一部の機能を除き、本システムは誰でも利用することができるため、住民も含めた地域の関係者間で、地域の課題や解決に向けた取組を共有でき、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進しやすくなる。



地域包括ケア「見える化」システムの機能

- 地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における計画策定・実行を支えるために「介護・医療の現状分析・課題抽出支援」「課題解決のための取組事例の共有・施策検討支援」「介護サービス見込み量等の将来推計支援」「介護・医療関連計画の実行管理支援」の機能を提供する。
- 令和3年より、自治体が自治体以外のユーザーを含めて情報共有するため、見える化システム内の様々な情報を組み合わせた「ダッシュボード機能」が追加された。

ダッシュボード機能

- 自治体が自治体以外のユーザーを含めて情報共有するため、見える化システム内の様々な情報を組み合わせて表示する機能

介護・医療の現状分析・課題抽出支援

- 公的統計及びレセプト情報等から現状分析・課題抽出に有効な指標群を随時自動的に算出・提供する機能
- 提供される指標群の解釈・課題抽出のポイント等の助言閲覧機能
- 日常よく活用する指標群等を保存しておく機能
- 介護サービス事業所、医療機関等の地域資源の位置情報・基本情報の提供機能
- 提供される情報をGIS・グラフ等によって直感的に分析可能な機能

介護・医療関連計画の実行管理支援

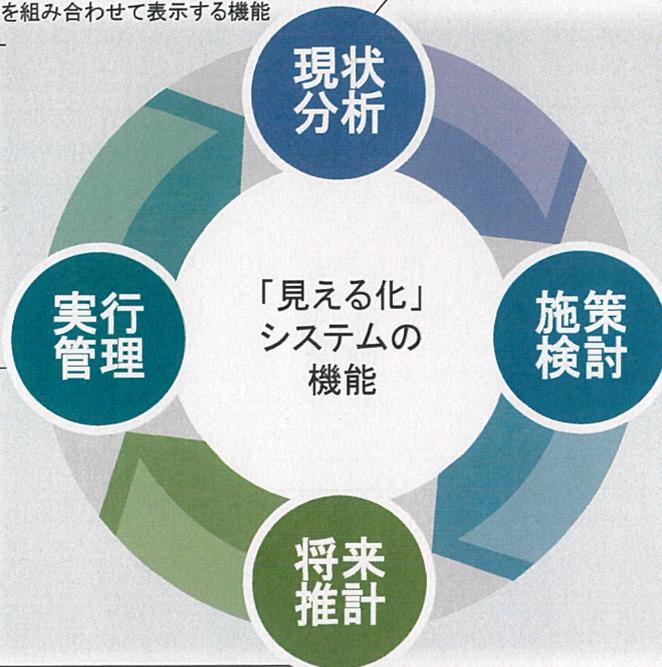
- 介護・医療関連計画における将来推計結果、定量目標値等(計画値)の登録機能
- 計画値と実績値の乖離状況の管理、地域間比較等の分析機能

介護サービス見込み量等の将来推計支援

- 介護サービス見込み量、介護保険料等の将来推計機能
- 国・都道府県による市町村別将来推計結果の集計・分析機能

取組事例の共有・施策検討支援

- 現状分析から抽出された課題、地域特性等の条件を設定して柔軟に先進都道府県・市町村の取組事例、ベストプラクティス事例等を検索・閲覧可能な機能



5

地域包括ケア「見える化」システムで提供する指標

- 地域包括ケア「見える化」システムは、現状分析及び実行管理支援のために以下の指標を提供している。
- これらの指標の多くは従来厚生労働省が提供してきた「介護政策評価支援システム」における給付分析のための指標を引き継いで設定されている。

目的	区分	指標(抜粋)	ソース
現状分析	人口と世帯の状況	総人口、高齢化率、高齢独居世帯数(割合)等	国勢調査等
	被保険者及び認定者数	第1号被保険者数、要介護認定者数(率)、性・年齢調整済み認定率等	介護保険事業状況報告
	介護保険料	第1号保険料月額、必要保険料月額等	介護保険総合DB
	介護保険サービスの利用状況	介護サービス受給者数(率)、第1号被保険者1人あたり給付月額、性・年齢調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額、受給者1人あたり給付月額、受給者1人あたり利用日数・回数等	等
	医療	後期高齢者1人あたり医療費、受療率等	後期高齢者医療事業状況報告、患者調査
	その他	リスク高齢者の割合、地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合、週1回以上の通いの場の参加率、介護人材の受給推計等	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等
	地域資源の状況	介護サービス施設・事業所、在宅医療を行う医療機関の位置情報等	介護サービス情報公表医療機能情報提供制度病床機能報告制度
実行管理	被保険者及び認定者数	第1号被保険者数、要介護認定者数(率)等	介護保険事業状況報告
	介護サービス見込み量	介護サービス利用者数、利用者1人1月当たり利用日数・回数	
	給付見込み・保険料	総給付費、保険料基準額等	

2-4

6

地域包括ケア「見える化」システムの利用の範囲①

- 地域包括ケア「見える化」システムの利用者は、大きく「国」「都道府県」「市町村」「国民」に分類される。
- 「国」については、厚生労働省、外部協力者(国立研究所、審議会委員など)を想定する。
- 「都道府県」については、介護保険事業支援計画・医療計画・医療費適正化計画の各担当、計画以外の担当(保健所等を含む)、外部協力者(計画策定委員、大学等の協力研究機関など)を想定する。
- 「市町村」については介護保険事業計画の担当、計画以外の担当(地域包括支援センター等を含む)、外部協力者(計画策定委員、大学等の協力研究機関など)を想定する。
- 各利用者が利用可能な機能の範囲は以下の通り。(○:利用可能 △:制限付き利用可能 -:利用不可)。

機能	国		都道府県			市町村			国民
	厚生労働省	外部協力者	計画担当	その他担当	外部協力者	計画担当	その他担当	外部協力者	
介護・医療の現状分析・課題抽出支援機能									
現状分析・課題抽出に有効な指標群の閲覧・データ取得機能	○	○	○	○	○	○	○	○	△(*1)
提供される指標群の解釈・課題抽出のポイント等の助言閲覧機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日常的によく活用する指標群等を保存しておく機能(お気に入り機能)	○(*2)	○	○	○	○	○	○	○	○
介護サービス事業所、医療機関等の地域資源の位置情報・基本情報の閲覧機能	○	○	○	○	○	○	○	○	△(*1)
提供される情報をGIS・グラフ等に表示し、直感的な分析を可能とする機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日常生活圏域の設定	-	-	-	-	-	-	○(*3)	-	-

(*1) 適切に解釈するのに一定の知識と専門性を要するものについては、一定の閲覧制限を設ける。

(*2) 今後、日常よく活用する指標群等の情報収集・分析を行い、都道府県・市町村にフィードバックする。

(*3) 「見える化」主担当のアカウント権限者のみ可能。

7

地域包括ケア「見える化」システムの利用の範囲②

機能	国		都道府県			市町村			国民
	厚生労働省	外部協力者	計画担当	その他担当	外部協力者	計画担当	その他担当	外部協力者	
取組事例の共有・施策検討支援									
先進都道府県・市町村の取組事例、ベストプラクティス事例等の検索・閲覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護・医療関連計画の実行管理支援									
計画値と実績値の乖離状況の管理、地域間比較等の分析機能	○	○	○	○	○	○	○	○	-
介護サービス見込み量等の将来推計支援									
介護サービス見込み量、介護保険料等の将来推計機能の利用	-	-	○	-	○	○	-	○	-
将来推計の考え方、適切に推計するための留意点等の情報閲覧	○	-	○	-	○	○	-	○	-
保険者別将来推計結果の集計・分析機能	○	-	○	-	○	○	-	○	-

POINT

- 自治体における見える化システムの利用について、令和4年3月よりLGWAN回線で接続可能です。
LGWAN接続時のURL : <https://mieruka.mhlw.hq.admix.go.jp/>

